

1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立岡山東商業高等学校		
実践者等	森 隆憲	実践日	令和3年6月10日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	夏の保護者面談日程調整		
対象生徒 (学年等)	1年生		
単 元 名 (教科・科目の場合のみ)			
使用したアプリ等	Classroom、Google カレンダー		
実践の概要 (ねらい等)	保護者面談日程調整の簡略化		
実践の内容			
<p>保護者面談の日程調整は煩雑な作業であるが、1人1台端末を利用することで簡略化する。</p> <p><これまでの一般的な流れ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事前に日程を知らせ、ある程度の希望を取る (生徒を通じて紙で提出) 2 全員回収したところで、教員が日程調整をし、さらに Excel で表にして保護者に知らせる。 3 予定が変わると、電話などを通じて連絡を取り合い、その都度変更作業を行う。 <p><今回実施した流れ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日程を告知し、特段の希望がある場合のみ知らせるよう、文書を使って依頼 2 Google カレンダーの予約枠機能を使い、保護者が希望する日程を入力できるように設定する。 3 Classroom を通じて、入力の仕方を提示し、各家庭で都合のいい日時を入力してもらう。 4 都合が悪くなったら、各家庭が予約の取り直しを行う。(直前まで変更可能) <p>教員側が日程調整する必要もなく、また、変更も保護者がその都度行いすぐに反映される。直前でないと都合が確定しない保護者にも対応可能である。また、各自の Google カレンダーに面談時間も反映されるので、日時忘れ等も少なくなる。学期末の成績処理など多忙な中で、働き方改革につながる取組である。</p>			
参考となる HP 等	 <p style="text-align: center;">Google カレンダーから予約枠を選び設定する。</p>		